

備前市施策評価シート

(平成22年度事業)

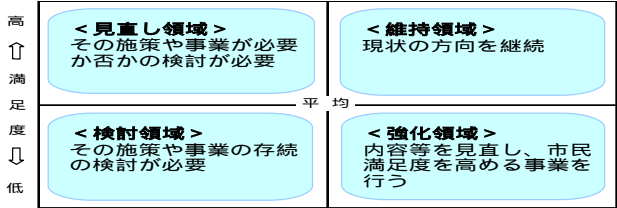
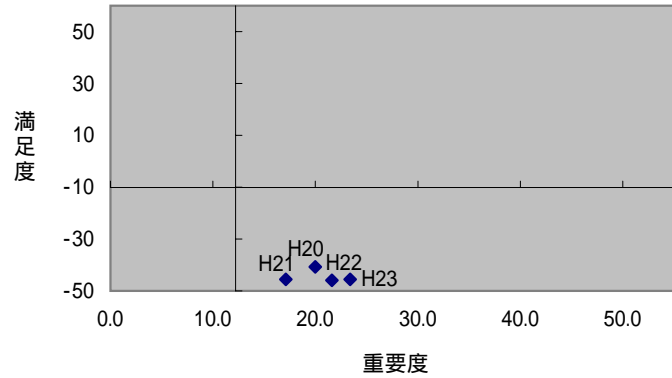
施策名 (小項目)	工業	コード	04-02-03	作成者	役職 中島 和久
		作成者	氏名 中島 和久	電話	64-1832
		このシート作成に要した時間		3.0 時間	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	基本施策(中項目)	起業と創造が支えるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	本市の地場産業である耐火物関係事業所や中小企業に対し、高度な技術の振興対策や中小企業への金融対策を支援し、安定経営を支援することを目的とする。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市の工業の中心は耐火物製造業で、その生産量は、全国総生産の3割を占めており、関連業種を含めると、本市の基幹産業として地域経済を支えてきた。しかし、昭和50年代に入り、耐火物産業全般が不況に陥ったことから、官民挙げて製品の高品質化・多角化に取り組んでいる。本市における企業集積度は高く、可住地に占める工業用地の割合も高くなっている。今後は、未利用地の有効活用、生産基盤の整備に努めるとともに、中小企業の体質改善に重点を置いた工業の健全な発展を図る必要がある。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	既存企業の拡張 適応業種(岡山セラミックスセンター)の育成 起業の支援 中小企業の育成 特定業種(中小企業者)への支援	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H20	H21	H22	H23
重要度(%)	20.0	17.1	21.6	23.4
満足度(%)	- 40.8	- 45.5	- 45.9	- 45.6



調査結果に対するコメント、市民の反応等	工業に対する重要度は高く、満足度は非常に低い。工業に対する市民からの直接要望は少ないが、アンケート調査を真摯に受け止め、継続して行う施策である。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H20	H21	H22		H23	H28
成果指標 岡山セラミックスセンターにおける検査件数	目標	件	10,000	10,000	10,000	H23	10,000
	実績	件	9,479	9,240	10,703	H28	10,000
	達成率	%	94.8	92.4	107.0	-	-
	ベンチマーク						
参考指標 商工振興融資及びセーフティネット取扱件数	目標	件	100	100	100	H23	100
	実績	件	293	257	183	H28	100
	達成率	%	293.0	257.0	183.0	-	-
	ベンチマーク						
参考指標	目標					H23	
	実績					H28	
	達成率	%				-	-
	ベンチマーク					-	-
参考指標	目標					H23	
	実績					H28	
	達成率	%				-	-
	ベンチマーク					-	-

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)										施策への貢献度						
				平成20年度				平成21年度			平成22年度				平成23年度					
				直接事業費	人件費	人工数	当予算(直接事業費)	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数		当初予算(直接事業費)					
1	適応業種支援事業	B	岡山セラミックスセンター補助事業	単市	4,754	107	0.01	4,279	82	0.01	4,279	0	0.00	3,852						
2	中小企業融資事業	B	商工振興融資幹旋事業	単市	3,844	814	0.09	3,565	435	0.06	3,332	184	0.02	1,241						
			中小企業信用保険法関係事務	単市	0	756	0.13	0	2,910	0.40	0	1,010	0.13	0						
3	工業振興事業	B	中小企業災害融資利子補給事業	単市	476	58	0.01	177	191	0.03					* H21終了					
			計量器検査事務	法定	0	0	0.00	0	45	0.01	0	233	0.03	0	* 法定事務					
			火薬類取扱事務	法定	0	0	0.00	0	15	0.00	0	0	0.00	0	* 法定事務					
			地下資源関係事務	法定	0	0	0.00	0	10	0.00	0	0	0.00	0	* 法定事務					
				この施策に費やした資源(単位:千円,人)																
				平成20年度				平成21年度			平成22年度			平成23年度						
				9,074				1,735			0.24			8,021	3,688	0.51	7,611	1,427	0.18	5,093

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
岡山県	岡山セラミックスセンター運営事業	岡山セラミックスセンター運営全般。
備前市	商業団体運営事業、企業誘致奨励金事業	商工会議所、商工会との協働、新規・事業の拡張などでの市内操業を支援する。
国	セーフティネット認定事業	金融機関の融資の円滑化を支援する。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
<成果指標の妥当性> 1 施策の目的・成果を表現しているか?	3	岡山セラミックスセンターは検査機関、研究開発機関として地場産業の発展に大きく貢献しており、成果指標の岡山セラミックスセンターにおける検査件数は概ね妥当である。	
<事業構成の妥当性> 2 手段は最適か?	4	地場産業の育成、活性化を図る上で、岡山セラミックスセンター補助や商工振興融資幹旋等、事業構成はほぼ適正である。	
<施策の有効性> 3 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	地場産業の育成、活性化を図る上で、岡山セラミックスセンター補助や商工振興融資幹旋は、非常に重要であり、事業施策は有効である。	
進行年度(H23年度)の取組内容(課題解決状況)		岡山セラミックスセンターを有効活用し、試験分析による高品質化・多角化など、地場産業の育成支援に努める。商工会議所、商工会等との連携を密に、中小企業の安定経営支援のための融資幹旋事業の活用を図る。	
翌年度(H24年度)の取組目標		地場産業の育成、活性化策の検討を図る。商工会議所、商工会等との連携を密に、中小企業の安定経営支援のための融資幹旋事業の活用を図る。	
二次評価者コメント		地場産業及びセラミックスセンター等の支援・活用を図る。また、中小企業については県・国の施策に基づき支援を進めてください。	
役職	産業部長		
氏名	竹林 幸一		
		基本施策への貢献度	
		3 中立	